

平成26年8月6日

No. 122

〈小さくても〉

高林 幸裕

今年も8月に入り、残り4ヶ月となります。昨年独立者もあり、幹部社員も含め男性6人が退職しました。退職した男性社員の経験も豊富、知識もありことから、各自に責任を持たせ、任せていました。任せることにより、良い点もありましたが、ひとつひとつの細かいところに手回し体制の届かなく今年になり前任者の知理の誤りなどで発見されました。残った社員は(女性社員も)が、しっかり見ていただくことで、誤りは是正されています。6人中堅男性社員も一斉に退職するのは、私(経営者)に大きな問題がありますか、退職した社員の問題ありわけではありませんか(経営者の責任)。残った、はじめの社員も一生懸命対応して頂き、お昼様に対して時間がかかりましたが丁寧に対応してくれています。要領良くはいませんが、頑張っています。全員で協力してお仕事をしています。事務所内の管理の部分ですが、巡回監査率(お昼様の月次処理の翌月完了率)が、前年より60%台であったのが、7月は90%を超えています。決算前対策としての継続MAPシステムの利用率も前年は10%以下でしたが、7月は50%を超える状況となっています。セミナーも件数は減りましたが、24時間一度づつあります。広報誌、ブログも社員さんが作成しています。今年の方針、お話しして、決めたこともきちんとやりましょう。早期月次決算、正確な申告、決算書作成、決算前対策、頑張っています。女性若手社員も、一生懸命にやっています。お仕事を、しっかりとやっています。大切なことをやっています。高度なこと難しいことをやっています。今の野村には、必要かもしれないがもっと必要なことがあったことに気がされました。会計事務所は、何よりも①早期の月次決算②正確な申告、決算③決算前対策が大事。とても有用な情報提供が必要なのだと思います。派手はない、エスはいらない。正直である。女性が頑張れる職場、小さい会社としての財産であります。